

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習 I		
担当者(Instructors)	伊藤 龍仁	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)

本演習は、2年間のゼミ活動を通して日本の子どもの福祉と社会的養育の現状・課題を理解し、専門職として子どもや家族を支援するために必要な資質と人間性の向上および基礎的な実践力を育成することが目的である。

■ 授業形態・授業の方法 (Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	自己紹介は自己プレゼンテーションに取り組みさせる。ディスカッション及びディベート並びにグループワークを取り入れた演習活動を展開するとともに、児童福祉施設等におけるフィールドワークを実施する。社会状況等により一部のディスカッションをオンライン上で実施するほか、フィールドワークをオンライン上の研究活動に変更する可能性がある。

■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	履修オリエンテーション 自己紹介と役割分担	履修登録の確認とオリエンテーションを行う。 一人ずつ自己紹介をさせた後、役割分担を決める。	<input type="checkbox"/>
第2回	プレゼンテーション ゼミ生間の相互理解と交流	テーマに基づく自己開示とゼミ活動への抱負をプレゼンテーションさせ、相互理解を通してゼミ生間の交流を促進する。	<input type="checkbox"/>
第3回	ゼミ活動の目的と理解	ゼミ活動の目的を明らかにしてゼミとは何かをディスカッションする。	<input type="checkbox"/>
第4回	年間活動計画の検討	年間のゼミ活動計画についてディスカッションする。	<input type="checkbox"/>
第5回	年間活動計画の策定	年間のゼミ活動計画を策定する。	<input type="checkbox"/>
第6回	フィールドワーク（或いは個人研究） の実施に向けて	フィールドワーク（研究活動）に向けての準備と心構えについて指導する。	<input type="checkbox"/>
第7回	フィールドワーク①準備・事前学習	フィールドワーク①（研究活動）の準備と事前学習を行う。	<input type="checkbox"/>
第8回	フィールドワーク①実施	児童福祉施設等の現場におけるフィールドワーク①（研究活動）を実施する。	<input type="checkbox"/>
第9回	フィールドワーク①の振り返り	ディスカッションによりフィールドワーク①（研究活動）の振り返りをさせた後に教員からの講評と事後指導を行う。	<input type="checkbox"/>
第10回	ゼミ内交流会	ゼミ内での交流会を企画して実施する。	<input type="checkbox"/>
第11回	フィールドワーク②（或いは個人研究） 準備・事前学習	フィールドワーク②（研究活動）の準備と事前学習を行う。	<input type="checkbox"/>
第12回	フィールドワーク②実施	児童福祉施設等の現場におけるフィールドワーク②（研究活動）を実施する。	<input type="checkbox"/>
第13回	フィールドワーク②の振り返り	ディスカッションによりフィールドワーク②（研究活動）の振り返りをさせた後に教員からの講評と事後指導を行う。	<input type="checkbox"/>
第14回	前期ゼミ活動の総括と課題の確認	前期フィールドワーク①②（或いは研究活動）の報告書を作成させてゼミ活動を総括し、各自の課題を確認する。	<input type="checkbox"/>
第15回	夏休みの送り方と後期計画	夏休みの過ごし方を確認し、後期の活動に向けての計画を確認する。 今後のゼミ活動等への抱負と決意をプレゼンテーションさせる。	<input type="checkbox"/>

■ 授業時間外学習（予習・復習）の内容 (Preparation/review details)

事前学習のテーマに基づくプレゼンテーションや課題の準備、実施するフィールドワークや研究活動に関連する語句、専門的知識等に関する下調べと、課題に関する下調べを概ね2時間行い、事後学習としてゼミ活動を振り返る800字程度のレポート作成或いは報告動画の作成を概ね2時間行い課題提出する。事前・事後学習を合わせて4時間以上取り組む。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

授業時間内に口頭でフィードバックする他、振り返り、報告書等のレポート課題に関するフィードバックは授業用プラットフォームやメールを活用して行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	フィールドワークなどの演習活動を通して小学校教員・幼稚園教員・保育士になるための資格に必須の知識と基礎的・実践的な技能を身につけることができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	フィールドワークなどの演習活動を通して現代の福祉・教育現場に存在する多様な問題や課題に正面から向き合うことのできる力強い思考力・判断力を習得できる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	フィールドワークなどの演習活動を通して小学校・幼稚園・児童福祉施設等での教育・養護・保育に主体的協働的に携わることができる幅広い人間力を体得できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

プレゼンテーション、提出物、フィールドワーク、自己開示とコミュニケーション、ゼミ活動への貢献度を総合的に評価する

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	これからレポート・卒論を書く若者のために 第2版酒井 聡樹 著 共立出版	9784320005983
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		